

名古屋港において、クルーズ船寄港時のにぎわい創出に向け 官民連携による新たな取組を開始します

～地元百貨店等によるふ頭での名産品販売、市民ボランティアによる通訳を初実施～

名古屋港において、クルーズ船寄港時の更なるにぎわい創出に向けて、地元百貨店等によるふ頭での名古屋・岐阜の名産品販売や市民ボランティアによる通訳など名古屋港で初となる取組に加え、市民団体による歓送迎イベントなど多様な取組を実施します。

近年、外航クルーズ船の日本への寄港が増加しており、昨年は日本へクルーズ船で入国した外国人旅客数が初めて100万人を突破したところです。

名古屋港においても、外航クルーズ船の寄港は増加傾向にあります。引き続き寄港を促進していくためには、地域が一体となり、クルーズ船寄港時のみなどの賑わいづくりに取り組むことが求められています。

中部地方整備局では、平成27年10月に、「クルーズ船の寄港促進に向けた名古屋港の魅力向上検討会」(座長:名城大学人間学部 水尾衣里教授)を設置し、クルーズ船寄港時の更なる賑わい創出に向けて検討を行ってきました。

このたび、本検討会でいただいたご意見・ご提案を実行に移すため、3月27日(日)に、大型外航クルーズ船の名古屋港寄港にあわせて、官民が連携し、ふ頭での名産品販売や、市民ボランティアによる通訳などの初実施の取組も含め、賑わい創出に向けた多様な取組を実施します。

記

1. 日時・場所

平成28年3月27日(日) 名古屋港 金城ふ頭西側岸壁

「マリナー・オブ・ザ・シーズ」(総トン数 138,279 トン、乗客定員 3,114 名) 9:30 入港 16:00 出港

2. 取組内容 (◎:名古屋港で初の取組、【】内は実施主体) ※荒天時は中止となる可能性があります

◎ ふ頭での名産品販売

【(株)名鉄百貨店、(株)大丸松坂屋百貨店、岐阜県名産販売(株)】

◎ 市民ボランティアによる乗客・乗員向けの通訳を実施 【愛知県国際交流協会】

◎ 学生ボランティアによる乗員向け通訳・アテンドを実施 【(株)ツアーステーション】

◎ 本取組内容に関するパンフレットの設置 【名古屋臨海高速鉄道(株)、(株)名鉄百貨店】

・ 市民団体による歓送迎イベント

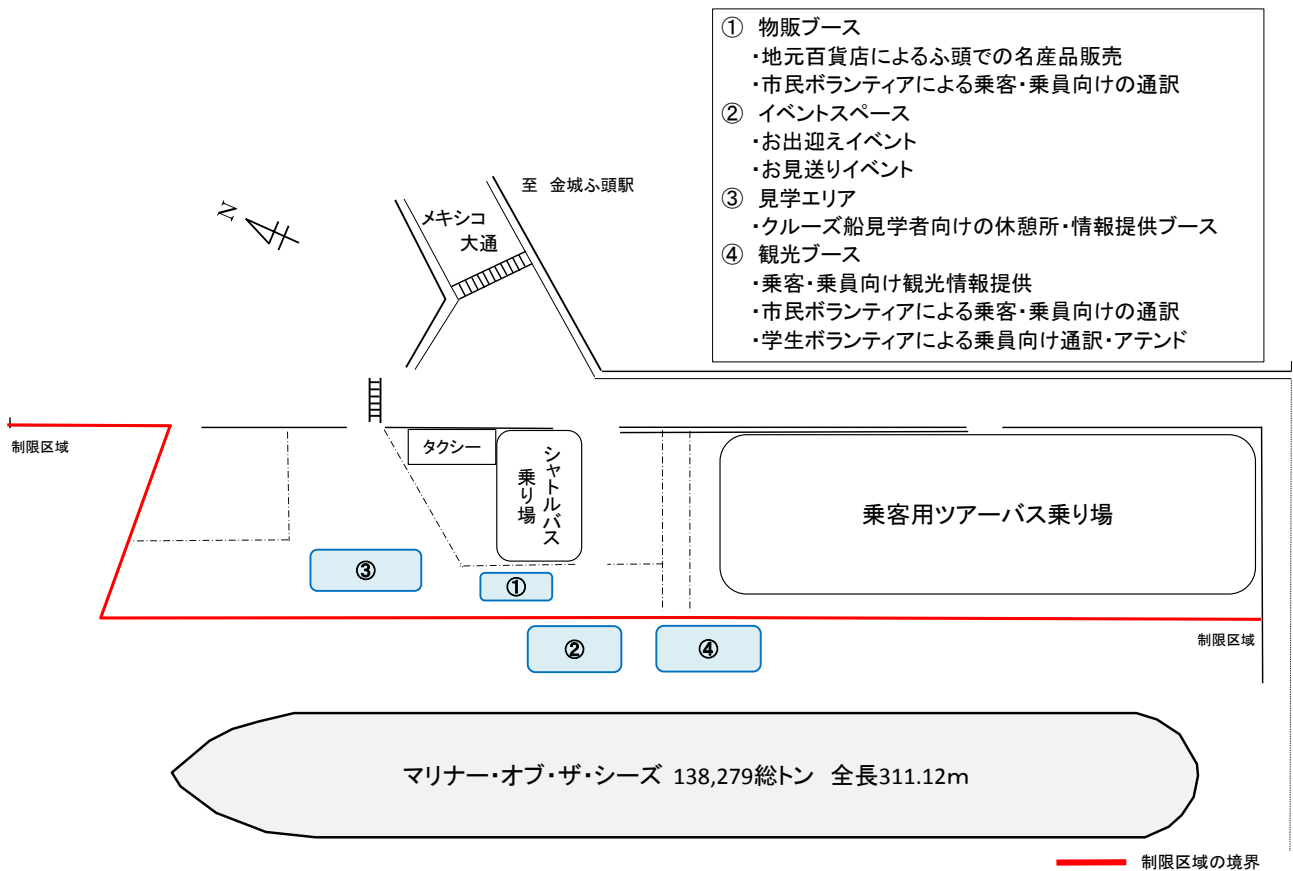
9:15～ お出迎えイベント 【和太鼓団体「尾張旭和太鼓 楽人&鼓竜太鼓」】

15:45～ お見送りイベント 【にっぽんど真ん中祭り参加団体「名古屋学生チーム『鯨』」】

・ クルーズ船見学者向けの休憩所、クルーズ観光等の情報提供ブースの設置 【中部地方整備局】

・ 関連機関による SNS 等を活用した情報発信

【中部国際空港(株)、名古屋港管理組合、名古屋市観光コンベンションビューロー】



各種取組 実施予定位置

<参考>

マリナー・オブ・ザ・シーズについて

総トン数：138,279トン	全長：311.12m
乗客定員：3,114名	乗組員数：1,185名
建造年：2003年	船籍：バハマ
船主：ロイヤル・カリビアン・インターナショナル(米)	

■配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス

■問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 佐藤(さとう)、長津(ながつ)
 TEL:052-209-6323 FAX:052-203-9739

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 企画調整課 板生(いたお)、河内(かわうち)
 TEL:052-651-6763 FAX:052-652-0303

金城ふ頭で

大型クルーズ船

を一緒にお出迎え・お見送りしよう!

2016年

3/27(日)

9:30 入港 16:00 出港

名古屋港金城ふ頭西側岸壁

※写真は、今回寄港するマリナー・オブ・ザ・シーズと同型のボイジャー・オブ・ザ・シーズが名古屋港に寄港したときの様子です

大型クルーズ船「マリナー・オブ・ザ・シーズ」が、3/27(日)に金城ふ頭にやってきます！
ぜひお越しいただき、一緒にクルーズ船をお出迎え・お見送りしませんか？

当日の取組内容

※荒天時は中止になる可能性があります

◆ 市民団体によるお出迎えイベント 9:15～

(和太鼓団体「尾張旭和太鼓 楽人&鼓竜太鼓」合同出演)

◆ 市民団体によるお見送りイベント 15:45～

(にっぽんど真ん中祭り参加団体「名古屋学生チーム『鯨』」出演)



初実施!

写真提供: にっぽんど真ん中祭り

◆ ふ頭での名産品販売 (名古屋・岐阜の名産品を販売予定)

◆ 休憩所、クルーズ観光等の情報提供ブースの設置

詳しくはウラ面をご覧ください



国土交通省 中部地方整備局

マリナー・オブ・ザ・シーズ



総トン数：138,279トン 全長：311.12m
乗客定員：3,114名 乗組員数：1,185名
建造年：2003年 船籍：バハマ
船主：ロイヤル・カリビアン・インターナショナル（米）

名古屋学生チーム『鯨』

1996年に結成された歴史あるチームで、につぽんど真ん中祭りには1999年の第一回から参加。瑞浪の美濃源氏七夕まつりや名古屋まつりなど各地の祭りやイベントに参加し、踊ることによって多くの人に**元気**や**感動**を与えようと努力を続けています。永続コンセプトは、

「眠っている情熱を呼び覚ませ！」



写真提供：につぽんど真ん中祭り



アクセス

■場所

名古屋港金城ふ頭西側岸壁

■アクセス

あおなみ線「金城ふ頭駅」より徒歩10分
「金城ふ頭駅⇄クルーズ船着岸岸壁」
の無料シャトルバス有
(8:45-16:30、10~15分間隔で運行)※予定

**※見学者用の駐車場はございません。
公共交通機関でお越し下さい。**

名古屋港におけるクルーズ船寄港時の更なるにぎわいの創出を目指して、中部地方整備局は、平成27年10月「クルーズ船の寄港促進に向けた名古屋港の魅力向上検討会」を立ち上げました。

これまでの検討会での議論を踏まえて、このたび、官民が連携し、市民団体によるお見送りや、ふ頭での名産品の販売（初実施）など、にぎわい創出に向けた様々な取組を実施いたします。

市民の皆様にも、迫力ある大型クルーズ船を間近でご覧いただきながら、クルーズ船のお出迎え・お見送りを一緒に盛り上げていただければ幸いです。3/27(日)は、ぜひ金城ふ頭へお越しください。

【お問合せ先】 国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 052-651-6763

※本案内は船内見学会についてのもではありません。なお、本寄港では船内見学会の実施予定はございません。

クルーズ船の寄港促進に向けた名古屋港の魅力向上検討会について

中部地方整備局

1. 設立趣旨

平成27年3月に設立された「名古屋港の未来を考える会」において、物流・産業のみならず、市民がより親しみを持てるみなとづくりを目指し検討を行っているところ、特に、近年増加するクルーズ船に対する名古屋港の魅力向上の必要性について多くの指摘がなされている。

名古屋港においては、外航クルーズ船の寄港増加に向けて、平成26年2月に「名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議」が設立されるなど、クルーズ振興を通じた地域の活性化に向けた取組が進められているところであり、こうした取組とも連携しながら、寄港地としての更なる魅力向上のための具体的な取組を加速すべく、「名古屋港の未来を考える会」での検討を踏まえ、本検討会を設置するものである。

なお、本検討会においては、取組の成果が期待される以下の2点について重点的な検討を行うこととする。

- ① にぎわいの創出による魅力向上
- ② 岸壁・ふ頭利用等に係る各種調整

2. 検討会参加団体（順不同）

（構成員）

名城大学 水尾教授（座長）

五洋海運（株）

中京海運（株）

旭運輸（株）

港まちづくり協議会

（株）ツアーステーション

名古屋商工会議所

（事務局）

中部地方整備局 港湾空港部

中部地方整備局 名古屋港湾事務所

（オブザーバー）

名古屋入国管理局

名古屋税関

名古屋検疫所

名古屋植物防疫所

動物検疫所

中部運輸局

名古屋港管理組合

（株）カーニバル・ジャパン

（一社）中部経済連合会

名古屋船舶（株）

名古屋港の未来を考える会